

# 広島大学学術情報リポジトリ

## Hiroshima University Institutional Repository

Title	広大スタンダード6000語彙リスト (HiroTan) の運用と改良
Author(s)	榎田, 一路; 森田, 光宏; 阪上, 辰也; 鬼田, 崇作; 天野, 修一
Citation	広島外国語教育研究, 24 : 141 - 152
Issue Date	2021-03-01
DOI	
Self DOI	<a href="https://doi.org/10.15027/50452">10.15027/50452</a>
URL	<a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00050452">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00050452</a>
Right	Copyright (c) 2021 広島大学外国語教育研究センター
Relation	



# 広大スタンダード6000語彙リスト (HiroTan) の運用と改良

榎 田 一 路  
森 田 光 宏  
阪 上 辰 也  
鬼 田 崇 作  
天 野 修 一

広島大学外国語教育研究センター

## 1. はじめに

広島大学外国語教育研究センター（以下「センター」）では、大学生の英語学習用語彙リスト「広大スタンダード6000語彙リスト (HiroTan)」を開発し、広島大学の1年生の約半数にあたる1,200名を対象とした教養教育の英語科目「コミュニケーション基礎Ⅰ・Ⅱ」における自学自習型オンライン教材として、この語彙リストを運用している。見出し語6,000語にそれぞれオリジナルの例文が付けられた同リストは、2011年度の正式運用開始以降、毎年定期的な点検と改訂が重ねられてきた。2020年度版においては定期的な点検と改訂に加えて、すべての見出し語を再検討し、その一部について差し替えを行った。本稿では、本リストの運用体制および今回の差し替えの背景について説明した後、この改訂の手順を紹介し、2019年度版との比較を交えつつ、主な変更点を報告する。

## 2. 「広大スタンダード6000語彙リスト (HiroTan)」の運用体制と改良の背景

本リストの開発は2009年度に着手され、2011年度に正式運用が開始された。リストの概要や開発の経緯、そして本学におけるこれまでの具体的な活用方法については、榎田他（2018）で説明したとおりである。「コミュニケーション基礎Ⅰ・Ⅱ」の受講者には、語彙・文法の知識養成を目的としたWBT（Web-Based Training）教材とともに、冊子体の単語集が提供されている（図1、図2）。榎田他（2018）をもとにまとめた同リストの概要を表1、表2に示す。



図1 オンライン単語学習 HiroTan  
(WBT 教材)



図2 冊子体の単語集

表1 「広大スタンダード6000語彙リスト (HiroTan)」の概要

目的	List learning (Webb & Nation, 2017) による受容語彙の増強
ジャンル	大学生を対象に、日常的・一般的コミュニケーションの場面とアカデミックな場面で必要な語彙を網羅
構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6,000語、2つの難易度レベル (標準4,000語、発展2,000語)</li> <li>・原則として1語につき日本語訳1つ<sup>1)</sup></li> <li>・すべての語に例文を掲載</li> <li>・1チャプター 100語×60チャプター (表2を参照)</li> </ul>
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子体：Book 1 (コミュニケーション基礎 I 用)、Book 2 (コミュニケーション基礎 II 用)</li> <li>・WBT 教材：オンライン単語学習、サッと英作！</li> </ul>
授業での運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション基礎 I・II (オンライン形式) での自学自習</li> <li>・コミュニケーション IA・IB・IIA・IIB (対面形式) との連動 (毎回の授業で、2チャプターずつ単語テストを実施)</li> </ul>

表2 コミュニケーション基礎 I・IIにおける HiroTan

科目名	チャプター	内容
コミュニケーション基礎 I (3,000 語)	a01-a20	標準レベル 2,000 語
	b01-b10	発展レベル 1,000 語
コミュニケーション基礎 II (3,000 語)	a21-a40	標準レベル 2,000 語
	b11-b20	発展レベル 1,000 語

表1, 表2に見られるように、本リストの最大の特徴は、英語科目「コミュニケーション基礎 I・II」での利用に特化されている点である。このため、語彙リストの仕様は、同科目を円滑に展開できるように設計されている。例えば「オンライン単語学習」のテストモードや、教材を連動させている対面授業での単語テスト、そして「コミュニケーション基礎 I・II」の期末試験は多肢選択式の問題であるため、出題された単語の意味が、リスト上近接する別の単語の意味と同一にならないよう配慮する必要がある。また、期末試験で出題される英文並べ替え問題は本リストの例文を題材に作られた10択問題であるため、WBT 教材開発や試験問題作成の便宜上、例文の長さは10±3語に揃えることを原則とした。

このような英語科目との連動を適切に行うため、センターの英語教員全員が半年ごとに、リストの点検作業および版下作成後の再点検を行っている。点検作業では、例文と訳語の見直しのほか、例文内で当該の英単語が見出し語の意味で使われているか、例文の長さは適切かなどを中心にチェックし、必要に応じて例文およびその日本語訳の書き換えや修正を行なっている。このようにして最新版の冊子体をそれぞれの年度版として提供している。

6,000語という膨大な数の見出し語と例文を持つ本リストは、2011年度の運用開始以来、継続的な点検作業を経て少しずつ改良を重ねてきたが、見出し語については研究上の理由から10年前の選定当時とほぼ変わっておらず、点検作業における修正の対象としてこなかった。しかし本リストの運用に基づく実践研究の中で、見出し語自体を見直す必要性に直面してきた。まず、見出

し語の中にはいわゆるカタカナ語や口語表現など、オンライン学習における難易度が低い語や、リストの活用目的に照らして重要度の低い語が見受けられた。次に、対象となる広島大学の1年生について、「コミュニケーション基礎Ⅰ・Ⅱ」運用開始当時と比較すると、TOEIC® Listening & Reading Test で測定される英語力に変化が見られる（表3）。

表3 「コミュニケーション基礎Ⅰ・Ⅱ」対象学生の TOEIC® IP スコア比較

	<i>n</i>	5月平均	5月 SD	1月平均	1月 SD	1月－5月
2011年度	756	466.5	89.4	494.7	113.1	28.2
2019年度	817	505.4	96.4	562.8	103.5	57.4

このように、1年次の年度開始時に近い5月と、年度終了直前の1月のスコア、そして1年次におけるスコアの伸び、これらのすべてにおいて着実な向上が見られている。このため、リストの語彙レベルを見直し、より難易度の高い語を導入すべき時期に差し掛かりつつあると言える。さらに本リストの開発後、新たな英語学習用の語彙リストが複数公開されており、それらの最新のリストを改良の参考とすることが可能となった。以上のことから、見出し語を再点検し、差し替えの必要があるものについては、最新の語彙リストを参照しながら、現在の学習者のレベルにより適合したものに改訂することとした。本稿の目的は、今回の見出し語の改訂を経て、「広大スタンダード6000語彙リスト」が運用開始当時のものからどのように変化したかを示すことにある。

### 3. 「広大スタンダード6000語彙リスト (HiroTan) 2020年度版」における改訂の手順

改訂作業は、(1)「広大スタンダード6000語彙リスト (HiroTan) 2019年度版」から差し替え候補の抽出、(2) 新規に追加する候補語のリストの作成、(3) (2) のリストの各語の評定、そして(4) (3) の結果に基づく新規に追加する語の決定、(5) 例文等の作成、以上の手順で行った。これらの作業は、センターの英語教員のうち、本稿の著者5名が中心となり行った。以下、それぞれの手順について説明する。

まず、本リストに掲載された6,000語から、差し替え候補の語を抽出した。作業に携わった5名は、6,000語すべてを見直し、カタカナ語や口語表現、重要度の低い語など、差し替えを行うべき語を指摘した。この結果、リストの4.4%にあたる264語が差し替え候補として抽出された。その内訳は、標準レベルが193語、発展レベルが71語である。

次に、同リストの開発以降に発表された複数の英語学習者用語彙リストから、新たに採用する語の候補を選定した。榎田他 (2018) でも触れられている本リストの仕様に即し、新たに採用する語についても、日常的・一般的なコミュニケーションの場面とアカデミックな場面で必要な語彙を扱うこととした。今回参照したリストは、Browne, Culligan, and Phillips (2013a, 2013b) による「New General Service List 1.01 (NGSL)」および「New Academic Word List 1.0 (NAWL)」、Browne and Culligan (2016a, 2016b) による「TOEIC Service List 1.1 (TSL)」および「Business Service List 1.01 (BSL)」、そして国際ビジネスコミュニケーション協会 (2019) による『TOEIC® Listening & Reading 公式ポキャプラリーブック』である。以上の5種類のうち NGSL については3段階のレベルに分かれているが、対象者のレベルを考慮し、最も難易度の高いレベル3のみをリストアップした。それぞれのリストについての説明および語数を、表4に示す。

表4 「広大スタンダード6000語彙リスト」改訂の上で参照した語彙リスト

語彙リスト	説明	語数
New General Service List 1.01 (NGSL) レベル3	一般的な場面で用いられる基本語リスト	801
New Academic Word List 1.0 (NAWL)	NGSL とともにアカデミック英語コーパス（2億8,300万語）の92%をカバー	963
TOEIC Service List 1.1 (TSL)	NGSL とともに TOEIC コーパス（150万語）の99%をカバー	1,259
Business Service List 1.01 (BSL)	NGSL とともにビジネス英語コーパス（6,400万語）の97%をカバー	1,757
『TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック』	過去の TOEIC® Listening and Reading Test より頻出語を抽出	1,156

これら延べ5,936語のリストから、「広大スタンダード6000語彙リスト」に既出の延べ4,470語を除き、さらに NGSL レベル2以下の語、熟語、およびリスト間の重複を除いた計1,070語を、新たに採用する語の候補とした。各単語の日本語訳は、すべて新しく付け直した。

これらをもとに、著者5名による評定の作業が行われた。対象学生の英語力の現状に即した語彙を選定するため、各教員の広島大学での英語教育経験に基づく直観的な評定を行い、その集計結果を反映させることとした。評定は5段階で行われ、ほぼ全員の学生が知っていると思われるものは5、逆に学習の難易度が高すぎるためリストの対象外と思われるものは1、その中間にあたる2、3、4については、それぞれ TOEIC® Listening and Reading Test の730点、600点、500点レベルとした。以上の評定のプロセスは2011年度版をほぼ踏襲しているが、当時の5段階評定では、2が TOEIC® 600点、3が500点、4が400点であった。今回の選定にあたっては、先に述べた過去8年間での広島大学学生の英語力および到達目標のレベルアップを背景に、評定のレベルを引き上げることとした（表5）。

表5 評定の基準（TOEIC® Listening and Reading IP テストスコア）

	平成 23 年度版	2020 年度版
1	学習の難易度が高すぎる語	
2	600	730
3	500	600
4	400	500
5	ほぼ全ての学生が知っていると思われる語	

評定の結果、新規に追加する語を決定した。5名の教員による評定の平均値が3以上の語を「広大スタンダード6000語彙リスト（HiroTan）」の標準レベル、それ未満の語を発展レベルとして選定を行った。1や5の極端な評定が含まれていない語を優先し、標準レベルから193語、発展レベルから71語を選定した結果、2.6から4.0の間にある264語を新たに選定した。評定結果の詳細については後述する。

最後に、264語のすべてについて例文を作成した。著者5名を含む6名の教員で作成を分担し、例文の適切さを点検した上で、英語ネイティブ教員によるチェックを行った。なお、例文作成の

段階で、見出し語の変更を行った語が5語ある。いずれも他動詞で、用例作成の段階で分詞形容詞としての用法が一般的と判断したものである（表6）。

表6 変更した見出し語

変更前	変更後	作成した例文
unauthorize	unauthorized	You and I are <u>unauthorized</u> to enter that properties.
dissatisfy	dissatisfied	Fans were <u>dissatisfied</u> with the poor performance of the team.
obligate	obligated	It is widely acknowledged that parents are <u>obligated</u> to discipline their children.
outdate	outdated	A previous version of this software relied on <u>outdated</u> modules.
overcrowd	overcrowded	The buses are always <u>overcrowded</u> on rainy Monday mornings.

#### 4. 改訂の結果

ここでは、一連の改訂作業において得られたデータや、2019年度版のリストと今回の改訂版との比較をもとに、改訂の結果を示す。まず、今回差し替え対象となった語とそれぞれの変更理由、および新規に追加した語のリストを、それぞれ付録1、付録2に示した。これらのうち、差し替えとなった理由の内訳を表7に示す。

表7 差し替えとなった語の内訳

差し替え理由	語数
カタカナ語	228
難易度	20
重要度	11
ポリティカル・コレクトネス	3
重複	2
計	264

カタカナ語は、academic や ace などのように、カタカナ表記により意味が推測可能なものを差し替え対象とした。この中には、例えば綴りの比較的複雑な語など、必ずしも単語としての難易度が低い語も含まれているが、このようなカタカナ語は、前述の通り本リストの活用目的においては重要度が低いと判断した。また、addition や bored のような本リストの対象学生にとって難易度の低いと思われる語、dictatorship や lass など、学習の優先度が低いと判断した語、chairman や salesman など、ポリティカル・コレクトネスの観点から避けることが望ましい語も、差し替えの対象とした。なお、今回の点検の過程で、リスト内で複数回登場している見出し語が2語あることも判明したため、これらも差し替え対象に含めた。

次に、候補語1,070語のリストに含めた5種類の語彙リストについて、筆者5名が評定を行った結果を図3に示す。

図3では、各リストに含まれる語について、教員5名による5段階の評定平均の分布が、ヴァイオリンプロットとしてリスト別に示されている。プロット内で○で示されている箇所が、各リストの評定平均の中央値にあたる。なお、複数のリストで重複している語については、そのまま各

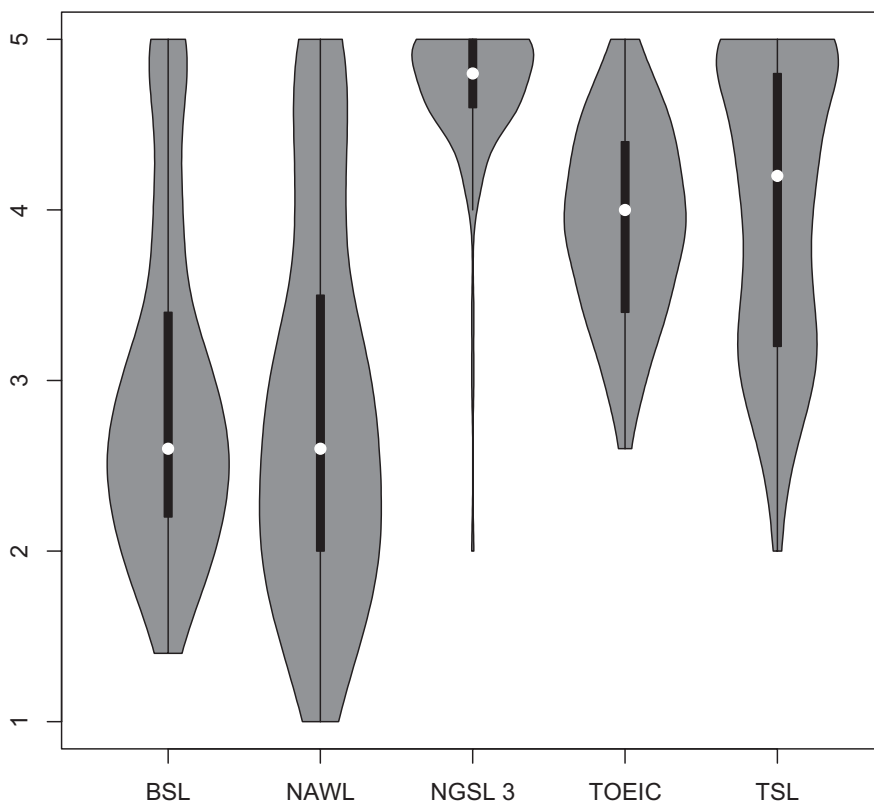


図3 5種類の単語リストの評定平均の分布

リスト内に含めた。これにより、各語彙リストの難易度における「広大スタンダード6000語彙リスト (HiroTan)」の位置づけが示されている。「広大スタンダード6000語彙リスト (HiroTan)」の改訂版で採用された語は2.6から4.0であるが、NGSL3はほぼ含まれておらず、最も難易度の低い4.0前後に、『TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック』およびTSLの中央値がある。一方、最も難易度の高い2.6はBSLとNAWLの中央値とほぼ一致している。このことから、「広大スタンダード6000語彙リスト (HiroTan)」では、『TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック』およびTSLのうち難易度が高めの語群と、BSLおよびNAWLのうち難易度が低めの語群が採用されたということになる。

今回の改訂で差し替えられた264語は、本リストの4.4%に相当する。様々なジャンルの語彙リストからバランスよく差し替え候補を選定したことで、本リストの活用目的により適合したリストの改訂が実現した。一方、慎重に作業が進められたものの、差し替えるべき語を十分に捕捉できていない可能性もある。また、今回差し替え対象とした語の中でも、多義語のように見方を変えれば学習する意義の依然高いものもあるため、そうした語は別途リストアップしておき、将来の改訂作業の中で再収録を検討する必要がある。

## 5. まとめと今後の展開

広島大学はスーパーグローバル大学創成支援事業のトップ型指定校として、学生の英語力向上に力を入れてきた。今回の改訂により、「広大スタンダード6000語彙リスト (HiroTan)」が、広島大学の学生の現状に即した、より高いレベルを目指した英語教育を推進する上での一助となることが期待される。

「広大スタンダード6000語彙リスト (HiroTan)」は、今後も定期的な修正と改訂を加えていく予定である。リストは将来的に一般公開する予定である<sup>2)</sup>が、その一環として、Podcastによる改訂版音声教材の公開を検討中である。

### 注

- 1) 榎田他 (2018) にも記されているように、本リストが見出し語1語につき日本語訳1つを原則としているのは、英文テキストの中でリストの所収語に接触した時、英文の理解の効率化を図るためである。中には複数の訳語をつけざるを得ないものもあるが、その場合も List learning に支障のない量に抑えられている。
- 2) 冊子体は、教科書として広島大学生協を通じて販売されている。

### 参考文献

- Browne, C., Culligan, B. & Phillips, J. (2013a). The New General Service List. Retrieved from <http://www.newgeneralservicelist.org>.
- Browne, C., Culligan, B. & Phillips, J. (2013b). The New Academic Word List. Retrieved from <http://www.newgeneralservicelist.org>.
- Browne, C., and Culligan, B. (2016a). The TOEIC Service List. Retrieved from <http://www.newgeneralservicelist.org>.
- Browne, C., and Culligan, B. (2016b). The Business Service List. Retrieved from <http://www.newgeneralservicelist.org>.
- Webb, S., & Nation, P. (2017). *How Vocabulary Is Learned*. Oxford, U. K.: Oxford University Press.
- 榎田一路・森田光宏・阪上辰也・鬼田崇作 (2018). 広大スタンダード6000語彙リスト (HiroTan) の開発と活用. 『広島外国語教育研究』 21, 111-120.
- 国際ビジネスコミュニケーション協会 (2019). 『TOEIC®Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック』. 国際ビジネスコミュニケーション協会.



付録1 差し替え対象語および変更理由

カタカナ語	click	flute	liter
academic	cocaine	franc	lobby
ace	cocktail	franchise	locker
acre	coil	gallon	logo
ale	coke	gay	magnetic
algorithm	colon	gel	maid
amateur	comedian	gin	mantle
amenity	compass	Gothic	marathon
apartment	computing	gown	marketing
badge	copy	gram	mask
ballet	counseling	handkerchief	massage
baroque	counselor	header	mast
bead	cracker	headlight	maternity
blouse	crane	hectare	media
boiler	crater	heroin	meeting
bolt	crystal	hook	messenger
bonus	curl	hose	mineral
boot	curriculum	humor	miniature
booth	dam	humorous	minus
boycott	dart	hunter	missile
brake	debut	hurricane	modem
brandy	deck	ideological	mosaic
brush	dessert	ideology	motif
bucket	dial	inning	motto
buffet	documentary	insider	multimedia
bungalow	dummy	jelly	mushroom
calcium	earring	jersey	nationalist
calorie	elite	jog	nude
cancelation	emerald	journalist	nylon
canoe	energy	kite	oak
canvas	engineer	label	orchestra
capsule	etcetera	lace	original
cassette	ethanol	lamp	ounce
caterpillar	fascism	laser	ozone
cement	feminism	lavender	pamphlet
chalk	feminist	lesbian	paperback
champagne	ferry	lettuce	parachute
chef	filter	lever	parade
chimpanzee	finale	lime	parsley

pastry	sponge	難易度	ポリティカル・コレク
penny	sponsor	addition	トネス
percent	spy	bored	chairman
pint	steak	compromise	salesman
pipeline	sticker	delicious	spokeswoman
plasma	straw	depend	
plug	style	discover	重複
plum	syllabus	discuss	licence
porter	tabloid	enjoyment	mug
pound	taboo	information	
pro	tank	leave	
propaganda	tanker	mainly	
pub	terrace	maternal	
pump	terrorist	mean	
pyramid	thrill	normal	
quarterback	thriller	peaceful	
radar	tile	possibility	
ranger	timing	revolt	
rank	tournament	suggest	
ranking	tractor	vocabulary	
rehearsal	trailer	weight	
renaissance	trainer		
rental	truck	重要度	
reporter	tunnel	dictatorship	
rhythm	uniform	lass	
rhythmic	uranium	mole	
roller	vector	nanny	
salad	velvet	prostitute	
satin	virus	psychic	
sauce	visa	sec	
scanner	vitamin	statistic	
sensor	waist	thee	
shaft	yacht	unanimous	
shutter	yogurt	witch	
shy			
simulate			
siren			
sketch			
slipper			

付録2 新規に追加された語のリスト

abide	citation	downgrade	hereby
absorption	clay	downside	hesitant
acclaim	cleanliness	dub	humidity
accomplishment	clone	eatery	illogical
adaptive	collective	economize	impairment
affirm	collectively	electrician	importantly
airfare	colonial	electronically	importer
align	communicative	emit	in-house
amongst	competency	empowerment	incline
analytic	composite	encyclopedia	inclusive
anew	congestion	endorsement	incoming
appetizer	connector	enforceable	industrialization
applicable	conviction	enlargement	inefficiency
apprehensive	cookware	entail	inexperience
appropriately	corrective	entrée	infinity
approximation	correlate	entrepreneurial	inflate
arc	crunch	equivalence	installment
artifact	culinary	excursion	interestingly
attributable	cyclical	exporter	invert
authorization	dealership	extinguisher	issuer
automotive	decimal	familiarize	layoff
aviation	defer	finalize	legitimacy
ballroom	deflation	flyer	letterhead
baseline	dent	footnote	leverage
benchmark	dependable	footwear	liberalize
blueprint	descendent	forecaster	lodging
brainstorm	detach	freighter	marketable
browse	deter	fry	maximization
by-law	devaluation	fund-raising	memorize
capitalize	diligence	generalize	mentor
carry-on	dimensional	genetics	migrant
caterer	disconnect	getaway	milestone
cancel	discontinue	governance	misidentify
centralize	dismal	grim	misplace
CEO	disposable	gut	mitigate
certification	dissatisfied	habitual	moderator
characterization	dissertation	halve	nationalize
charitable	distractor	healthcare	newsstand
checkup	dominance	healthful	obligated

occupancy	rehearse	sunscreen
odds	reimbursement	surrounding
offshore	relocation	sustainability
offspring	remodel	syndicate
onset	renovation	synergy
optimize	renter	tier
outage	repairperson	toiletry
outdated	reprint	transcribe
outperform	resale	transparency
overcharge	reschedule	tumble
overcrowded	restate	unattended
overpay	restructure	unauthorized
oversight	résumé	underlie
paraphrase	reevaluation	undervalue
pathway	reviewer	underway
payback	revolutionize	unfavorable
paycheck	rotate	unplug
peacekeeping	round-trip	unsecured
periodical	sadly	unspecified
personalize	saver	uplift
phenomenal	secrete	utilization
platter	seeker	validate
plural	sharply	vend
postgraduate	shortfall	videoconference
pottery	showcase	waive
predictor	slack	wellness
proofread	slowdown	wholesaler
publicize	sneeze	willingness
quantify	socialize	withhold
quota	specialization	yearly
randomize	stakeholder	
realizable	standardize	
rearrange	state-of-the-art	
rebound	stockbroker	
receivable	storeroom	
recruiter	stuck	
redeem	subsection	
reflexive	subsidize	
refundable	subtract	

## ABSTRACT

### **Implementation and Revision of the Hirodai Standard 6000 Vocabulary List (HiroTan)**

Kazumichi ENOKIDA

Mitsuhiro MORITA

Tatsuya SAKAUE

Shusaku KIDA

Shuichi AMANO

Institute for Foreign Language Research and Education

Hiroshima University

At Hiroshima University, online EFL courses dedicated to vocabulary building have been implemented since 2011, targeting approximately 1,000 undergraduate students each year. As reported in Enokida et al. (2018), an original vocabulary list was developed for these courses, consisting of 6,000 essential English words in daily, business, and academic contexts. A Web-Based Training system was also developed to facilitate online vocabulary learning and to manage learner data. The courses have been successfully implemented since the system's launch in 2011.

This paper reports on a recent update on the vocabulary list that reflects the latest tendency of the students' English skills at the university over the past nine years. First, each of the 6,000 words on the list was carefully checked, so relatively unimportant words could be excluded from the list. Then, a total of 1,070 new essential words that are not included in the list were collected from five existing vocabulary lists: The New General Service List and the New Academic Word List (Browne et al., 2013a, 2013b), the TOEIC Service List and the Business Service List (Browne et al., 2016a, 2016b), and *TOEIC®L & R Official Vocabulary Book* (The Institute for International Business Communication, 2019). These words were rated by a team of five experienced FLARE instructors on a 5-point scale according to the TOEIC® levels. As a result, 264 new words were selected to be included in the updated version of the list. The latest version of the list will be open to the public in the near future.